北広島町社協だより

まごころ通信

平成19年5月18日発行

第7号

（施設紹介）芸北小規模通所授産所 さあくる

「障害者自立支援法」～さあくるは今後どのようになるのか～

さあくるは、知的障害者、精神障害者、身体障害者が通い、パンの製造・販売、石鹸や小物づくりを行っている、授産施設です。

障害者自立支援法の成立により、利用料の一割を負担しなければならないという制度に対して、通所者は不安を隠しきれません。利用者からは『働きに来ているのに利用料を支払うことは納得できない』と言う意見が多く、北広島町へ利用料の補助などを求めた要望書を提出しました。

障害があるがゆえに、考えられない生活の面でお金を払わないといけないこの制度。障害者は地域で安心して暮らせるでしょうか？

主な内容

芸北小規模通所授産所 …… 1
会長挨拶・役員紹介 …… 2
北広島町社協組織図 …… 3
平成１９年度事業計画 …… 4
平成１９年度予算 …… 5
サロン研修、声のお届け隊 …… 6
まごころ（浄財寄付） …… 7～8
福祉用具寄贈 …… 8

社会福祉法人 北広島町社会福祉協議会

□本所・大朝支所　〒731-2104 広島県山県郡北広島町大朝2513-1 大朝福祉センター内 電話(0826)82-2680 FAX(0826)82-2778

□芸北支所　〒731-2322 広島県山県郡北広島町細見１６１ 電話(0826)35-0144 FAX(0826)36-3013

□千代田支所　〒731-1533 広島県山県郡北広島町有田５０４ 電話(0826)72-4670 FAX(0826)72-7071

□豊平支所　〒731-1711 広島県山県郡北広島町戸谷1088-1 電話(0826)83-0050 FAX(0826)85-0005

社協会長就任あいさつ

北広島町社会福祉協議会
会長　高橋　平信

気もちの良い春風の季節を迎え、皆様にはお元気でお過ごしのことと、心よりお慶び申し上げますと共に、常日頃　社会福祉協議会の運営にあたり、深いご理解とご協力ご支援を賜り感謝申し上げます。

振返って見ると、昨年九月十六日～十七日発生の集中豪雨及び台風十三号による町内　千代田・豊平の被害は甚大で、今なお生々しく爪跡が残り、被災された皆様に心よりお見舞申し上げますと共に、一日も早い被災地の復旧をお祈りいたします。

この度、北広島町社会福祉協議会では、理事、監事、評議員の改選の年に当たり、不肖　私　理事会において会長の推挙を賜り、浅学非才をも顧みず大役をお引き受けさせていただきました。どうか前任者同様　宜しくお願いいたします。

さて、私達のまち　北広島町も、地方分権一括の施行により、小規模町村においては、介護・福祉・教育等基幹的行政サービスの維持が困難とされ、広域的行政による的確な対応が求められ町村合併が進められました。社会福祉協議会もこれに呼応して地域福祉を推進する中核団体として、誰もが安心して暮らすことができる福祉の町づくりを基調として、合併後二年を経過いたしました。

社会情勢は今も若年層を主体とする人口流出を背景に、少子高齢化が急速に進んでおります。社会福祉も介護保険制度の改正や、障害者自立支援法の成立等、当事者の方々にとっても大変厳しい現状にあることが拝察され、社会福祉協議会を取り巻く環境は極めて厳しさを増しております。

これから諸課題に対応していくためには、私たち役職員が一丸となって取り組むことはもとより、町行政・議会の理解のあるご支援ご協力を賜り、福祉団体等関係機関と一体となり、地域を基盤とした福祉活動に取り組むことが一層重要であると考えます。さらなるご支援とご協力をお願いいたします。

終わりに、皆様方のご多幸を祈念申し上げご挨拶といたします。

役員紹介

理事

橋渡 良臣
（筏津）

久茂谷美保之
（荒神原）

藤田千紀枝
（壬生）

森田 憲二
（今田）

蔵升 俊郎
（今田）

石橋 雪江
（新庄）

堀田 高広
（大朝）

齋藤ヨリ子
（都志見）

福長 幸男
（志路原）

竹内 昌晴
（都志見）

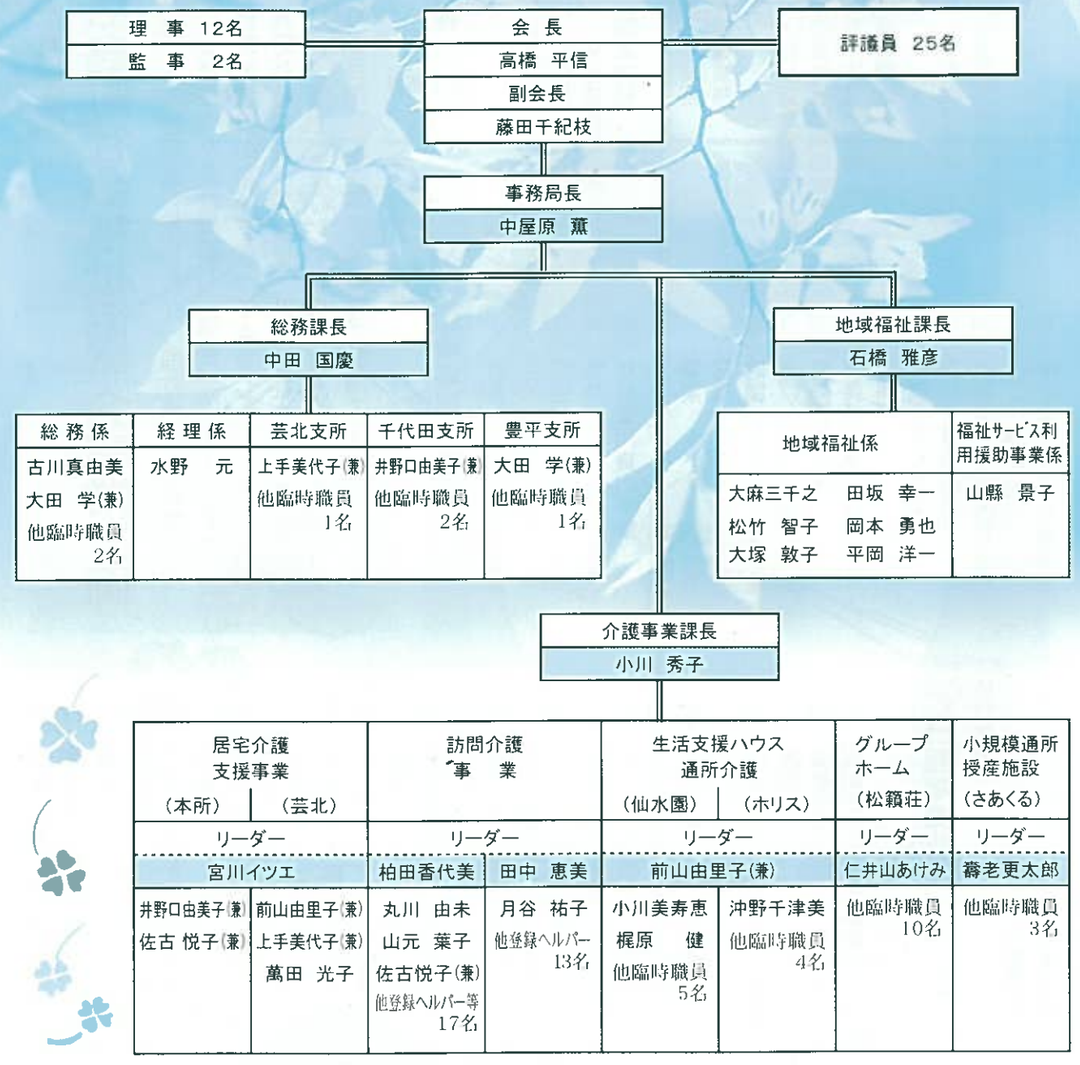
松村 広人
（本地）

監事

森藤　岑生
（本地）

小田　耕作
（上石）

北広島町社会福祉協議会組織図



人事異動

職員の退職

平成十九年三月三十一日をもって次の職員が退職いたしました。

事務局長　大下　正則
総務課総務係　吉岡　恵

採用

平成十九年四月一日より次の職員を採用しました。

平岡　洋一

中屋原　薫

平成十九年度

北広島町社会福祉協議会事業計画

合併して2年が経過しましたが、旧町社協の認識の差、各事業の独自性等があり見直し、調整、広域化につなげ又、職員研修等で意識の改革を図って来ました。3年目を迎えた北広島町社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的団体として、誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくりを目指して事業展開を行う計画です。

○総務課

◇総務
1 役員関係業務
2 規定・規則関係業務
3 広報（情報発信）業務
4 組織関係業務

◇労務
1 服務関係業務
2 人事関係業務

◇庶務
1 財産・物品管理関係業務
2 葬祭用具の貸出関係業務
3 日本赤十字社関係業務
4 共同募金関係業務

◇財務
1 予算・決算関係業務
2 自主財源関係業務

○地域福祉課

1 行事カレンダー発行事業
2 くらしの相談事業
3 民生資金貸付事業
4 生活福祉資金貸付事業
5 福祉車両貸出事業
6 レクリエーション用具貸出事業
7 日常生活用具貸出事業
8 地域住民グループ支援事業
9 おげんきですか訪問事業
10 食の確保事業
11 寝具類洗濯乾燥消毒サービス事業
12 家族介護教室事業
13 家族介護交流事業
14 地域福祉権利擁護事業（かけはし）
15 あい・あいスポーツ参加ん日
16 点字・声の広報事業
17 重度身体障害者等移動支援事業
18 七夕会
19 地域まるごと福祉教育推進事業
20 福祉協力校事業
21 小物づくり教室事業
22 老人クラブ支援事業
23 実習生・研修生管理事業
24 災害ボランティア育成検討事業
25 発達障害児者対策導入検討事業
26 筋筋キラキラ教室
27 ボール運動教室でかけよおや
28 マイケアプラン事業
29 認知症予防事業
30 リフォームボランティア事業
31 たすけて！と言えますか事業
32 地域支援グループボランティア育成
33 地域の「アドちゃん」養成講座
34 福祉団体支援
35 認知症予防推進事業

○介護事業課

◇介護保険事業
1 北広島町社協居宅介護事業
2 北広島町社協訪問介護事業
3 北広島町社協芸北通所介護事業
4 グループホーム松籟荘

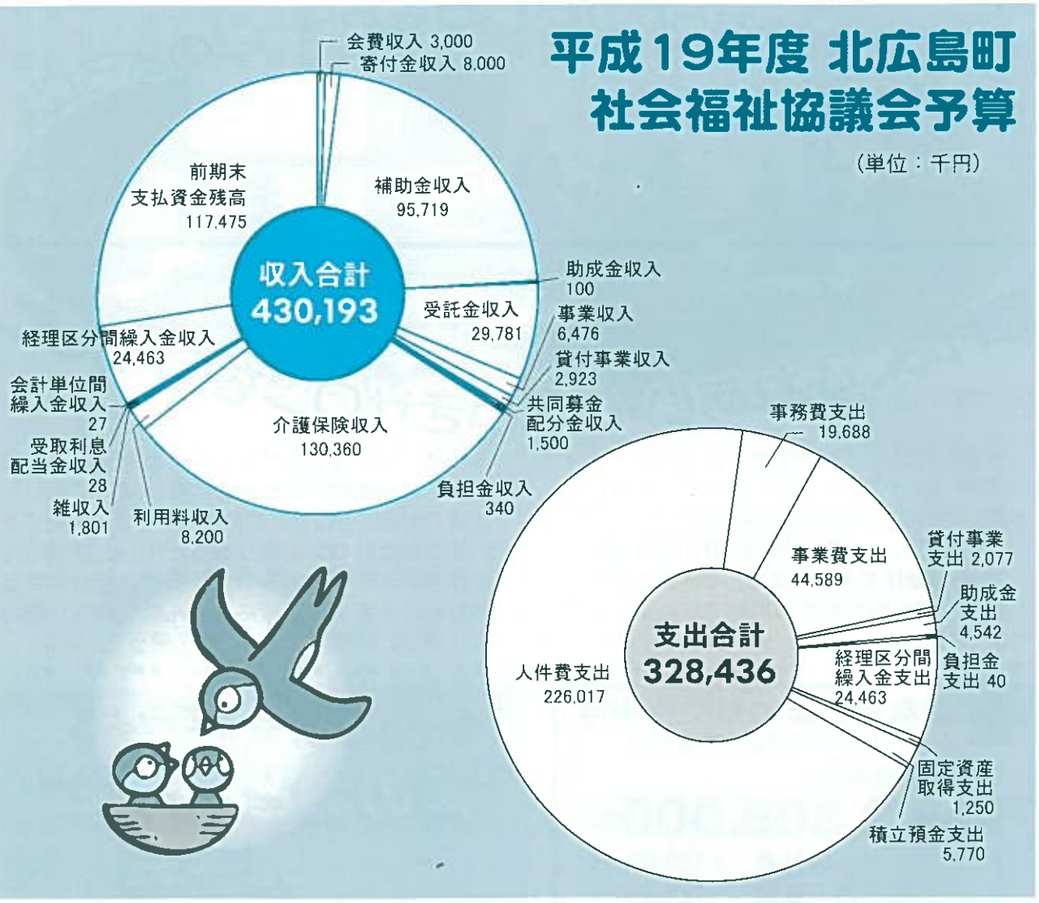
◇障害者自立支援給付事業
1 北広島町社協訪問介護事業

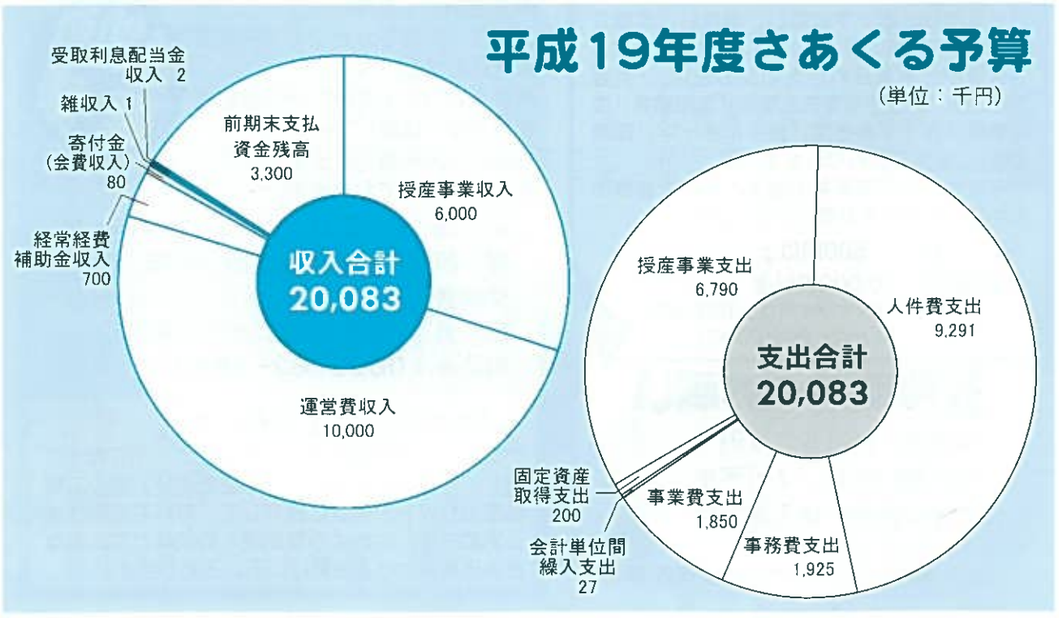
◇補助金による事業
1 芸北小規模通所授産所「さあくる」

◇受託事業
1 北広島町生活管理指導員派遣事業
2 北広島町育児支援家庭訪問業務

○指定管理施設の運営

1 大朝福祉センター
2 北広島町生活支援ハウス（芸北ホリスティックセンター福祉支援センター及び芸北高齢者生活福祉センター）
3 小規模老人ホーム千代田静楽荘
4 芸北小規模通所授産所さあくる





地域の仲間づくりや生きがいづくり、支え合いのきっかけづくりの場になっているサロンに参加している担い手さんが集いました。

「助けて！」と言われたら助けてあげる。
でも「助けて！」とはなかなか言えない。

誰もが住み慣れた家や地域で安心して生活していくために、「助け合いの地域」が不可欠です。

ふれあい・いきいきサロンは、地域福祉活動の基本として地域で取り組みやすい活動であり、地域の実情に合わせて柔軟に展開できる活動です。

「こんなサロンが欲しかった！」と地域の住民が手を叩く取り組みや、「まずは自分の幸せのために」を合い言葉に「こんなサロン、あんなサロン」が展開されることを願っています。

あなたのまわりに赤十字
－日本赤十字社北広島町分区－

平成18年度社資報告

社資額 3,308,000円

一般社資　3,183,000円
法人社資　125,000円

平素から、赤十字に対し、温かいご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様から寄せられた大切なお金は、「災害救護活動」「救急手当等普及事業」「医療事業」「血液事業」「赤十字奉仕団」「青少年赤十字」「国際活動」に役立てられています。

今年も、赤十字事業の推進に向けて皆様の大きなお力添えをお願いいたします。

社　員　500円以上
特別社員　20,000円以上
（毎年2,000円以上10年以内で
または一括20,000円）

社協会費のお願い

◇金額／戸別５００円
◇お願い時期／７月予定
◇主な使途／法人運営費
・まごころ通信印刷費
・情報ネットワーク維持管理費 等

見てみよう，やってみよう
“声のおとどけ隊”見学会

参加者募集

声を活かすって何だろう？
例えば、広報をカセットテープに吹き込む活動。
朗読ボランティアひびきの活動場面を見学・体験してみませんか。
あなたの声を活かすチャンスです。
参加お待ちしております。

日　時：6月23日(土)13：30～15：30
場　所：社協千代田支所　2階
参加費：100円
定　員：20名（定員になり次第締切。）
申込み：0826-82-2680

『声のおとどけ』活動とは

文字からの情報入手が困難な方に、「広報北広島」、「議会だより」、「社協だより」等の広報誌をカセットテープに録音して、無料でお届けする活動です。このような朗読・音読などで、あなたの声を活かせる活動はいろいろあります。

まごころ

社協活動を支える善意銀行

明るく住みよい町づくりに役立ててほしいと、次の方々から香典返し、退院の内祝等あたたかいご寄付をいただきました。

この浄財はご趣意にそい、社会福祉事業資金として活用させていただきます。

ありがとうございました。

自　平成十八年十二月二十六日
至　平成十九年四月三十日

千代田地区

【香典返しにかえて】

◇一月
寺原　児玉　静子　亡夫
今田　蔵升　俊郎　亡母
南方　武岡　健次　亡母
壬生　松島　月美　亡父
川戸　鑓分　稔明　亡母
壬生　反田　昭雄　亡母
石井谷　本原　博和　亡母
南方　上田　富男　亡父
有田　今子ゆき江　亡父

◇二月
川戸　高橋　泰　亡母
舞綱　木本　克史　亡父
川戸　友廣　慎治　亡父
壬生　川手　一夫　亡母
有田　上野　光子　亡母
有間　西原　良典　亡母
南方　立川　金夫　亡母

◇三月
有田　後藤　保　亡父
本地　粟野　義行　亡母
石井谷　川口　薫　亡父
丁保余原　舛谷　守　亡母
寺原　横道　博実　亡父
後有田　木船　文雄　亡母
壬生　甲野　美緒　亡父
有間　立川スズエ　亡夫
寺原　下西　幸典　亡父
壬生　山口　敏美　亡母
南方　深井　豊　亡母
壬生　亀宝　英雄　亡妻
蔵迫　浅木　隆典　亡母
有田　門枡　利男　亡妻

◇四月
本地　青木　覚　亡母
川戸　川本　緑　亡夫
壬生　中岡　安徳　亡母
川戸　増本　武敏　亡母

【退院の内祝いとして】

◇三月
有田　森脇　豊子

豊平地区

【香典返しにかえて】

◇十二月
戸谷　土井　洋子　亡母
長笹　温田　健三　亡妻

◇一月
都志見　山田　正文　亡父
阿坂　清水　一士　亡母
戸谷　池田日出男　亡父
長笹　安川　昭弘　亡妻
都志見　森　昭義　亡妻
今吉田　栗栖　文枝　亡夫

◇二月
今吉田　向井　佳紀　亡父
都志見　垉　智慧子　亡夫
戸谷　上田　眞文　亡父
都志見　山崎　博男　亡妻
阿坂　小田　界三　亡母
阿坂　竹下　政志　亡母
吉木　児玉　洋一　亡父
吉木　小野　昌子　亡夫
西宗　井手端　始　亡母

◇三月
吉木　三戸　重三　亡妻
阿坂　田坂　隆美　亡父
阿坂　松田　弘明　亡母
阿坂　竹村　雅之　亡叔父　中川昭三

◇四月
長笹　的場カズエ　亡夫
戸谷　林　貞子　亡夫
中原　道元フミエ　亡夫

【退院の内祝いとして】

◇十二月
今吉田　長木　昭治

◇一月
今吉田　長木　サズエ

◇三月
吉木　鈴木　克行　母　キシ子
戸谷　森脇　政春

【篤志寄付】

◇二月
阿坂　竹下　政志

◇三月
都志見　小川　龍馬

大朝地区

【香典返しにかえて】

◇一月
茅原　石橋真知子　亡夫　一夫
胡子町　佐々木寿詔　亡母　啓子
朝枝　石川　瑞枝　亡母　佐々木啓子
宮ノ庄　白砂　裕司　亡父　久雄
四丁目　四俣　初貴　亡母　フサコ
五丁目　四俣　武幸　亡母　フサコ

◇二月
田中原　森岡　正文　亡母　アサコ
女ヶ原　小田　正範　亡父　兼夫

◇四月
新庄　石橋　義之　亡母　幸江
九門明田村　一枝　亡夫　伴治

胡子町　宇川　克睦　亡母　すみ子
岡山市津高　川東由香美
亡母　宇川すみ子

【退院の内祝いとして】
◇十二月
九門明　六信　来
本谷　隅田　秋則
◇一月
郷之崎　大麻　正春
◇三月
郷之崎　大麻三千之
本谷　伊藤　三次

【篤志寄付】
◇十二月
日本基準寝具株式会社
◇二月
犬追原　梶川　洋平
◇三月
(株)日本食生活改善指導会

芸北地区

【香典返しにかえて】
◇一月
溝口　鎚口　護　亡母　フミ子
橋山　斉藤ナミヨ　亡夫　発朗
◇三月
西八幡原　田村　佳久　亡次男　直也
東八幡原　斉藤　皐雄　亡母　ハツノ

【退院の内祝いとして】
◇十二月
東八幡原　児玉　貞典
◇一月
大暮　半田　茂
雲耕　豊田　三郎
米沢　平石　重則
◇二月
荒神原　的場　馨
荒神原　佐々見　浩
次女　愛結
才乙　四郎田ミヨコ
◇三月
奥中原　後藤　富子
板村　前山　久子
才乙　川口　政行
奥原　岡本　洋壮
◇四月
奥原　岡本　栄子

【篤志寄付】
◇四月
草安　河野　喜八

大朝中学校 福祉用具贈呈式

大朝中学校生徒会では夏休みを利用して、古雑誌・古新聞やアルミ缶等のリサイクル活動をされています。その収益の一部を「地域の福祉に役立ててほしい」と、毎年福祉用品などを社協に寄贈いただいております。4年目となる今回は、3月9日(金)に「点字チャレンジセット」と本「いつだって心は生きている」を寄贈していただきました。

点字は視力に障害のある方が情報を得るための有効な手段のひとつです。学校でも「総合的な学習の時間」等で取り組まれていますが、点字を身近に体験できる機会や施設はそう多くありません。今回寄贈してもらったものは、点字体験をとおして、障害のある方も地域で安心して暮らしていけるにはどうしたらいいのかを考えていく教材として利用させていただきます。

また、本は認知症を理解してもらうための教材として利用いたします。最近、メディアが認知症を取り上げる機会が増えていますが、まだまだ偏見や誤解が多くあります。社協では、多くの方が認知症を正しく理解をすることで、地域で支える体制づくりを目指しています。

大朝中学校生徒会のみなさん、ありがとうございました。

→目録を渡す生徒代表　反田一生君(右)と目録を受け取る高橋平信社協会長(左)

学校やサロン等に貸出をしますので、お気軽にお申し込みください。

編集後記

この四月の職員の異動により「まごころ通信」を担当することになりました。

「まごころ通信」をとおして、地域のみなさんに社協が行っている事業の紹介や思いを出来るだけわかりやすく伝えられるよう心がけ、編集してまいりますのでよろしくお願いいたします。

この広報誌は、みなさまからの会費や共同募金の配分金によりつくられています。
R100 古紙配合率100%の再生紙と、大豆油インキを使用しています。